

## 令和2年度 第1回中野市健康づくり推進協議会 会議経過書

令和2年7月9日(木)

午後1時30分～

会議室 52・53

- 出席委員 高野 次郎委員、三澤 一道委員、高橋 智子委員、藤原 道雄委員、古田 充博委員(金山正太先生代理出席)、東本 雅之委員、中島 武久委員、今井 賢一委員、佐野 幸代委員、竹内 洋子委員、小林貴三子委員、吉池 照子委員、島田 忠美委員、吉見 和彦委員(14名)
- 欠席委員 黒川 達也委員、中島 一良委員(2名)
- 事務局 吉村健康福祉部長、小林健康づくり課長、岩井健康管理係長、池田保健医療推進係長、外山副主幹、高木主査(6名)

1 開 会 13:27 小林健康づくり課長(以後、進行)

2 あいさつ 吉村健康福祉部長

- ・ 委員→事務局職員の順で自己紹介

3 協議事項

(1) 会長・副会長の互選について

会長：高野次郎委員 副会長：佐野幸代委員  
(以後、進行は会長、副会長)

(2) 中野市の新型コロナウイルス感染症対策について

(説明者：池田保健医療推進係長) 資料P1～13

- 中島(武)委員 各区で祭りの開催判断に苦慮している。資料記載のとおり対策すれば開催可能であることがわかった。
- 今井委員 地元区の小学校行事は11月まで行わないと聞いている。また、えびす講の開催はどうなるか教えてほしい。
- 吉見委員 開催については検討中で、今後判断していくことになる。
- 小林健康づくり課長 資料P5の事業等の要件緩和については、本市、長野県及び全国の感染状況等が落ち着いた状況であることが前提である。今後の状況がどうなるかわからない。一つの目安として、判断いただければと思う。
- 高野会長 市としても秋以降の状況を見通せない中で、各団体の行事についてはそれぞれ判断してもらうらということで、踏み込んだ回答は難しいと思う。

(3) 2020 健康づくりフェスティバルについて

(説明者：池田保健医療推進係長) 資料P14～16

新型コロナウイルス感染症の終息の兆しが見えない状況の中、今年度の健康づくりフェスティバルの開催について、「新しい生活様式、3密の回避の徹底」、「終息が見通せない状況、対応が長丁場になることが予想されること」、「この協議会の構成団体の多くが、保健医療に関係し、第2波、第3波を想定した中で、感染拡大の状況に影響を大きく受けやすいこと」の3点を考慮いただきご協議をお願いしたい。

- 高橋委員 終息が見込めないため延期でどうか。
- 藤原委員 延期、中止と判断することは簡単。コストはかかるが余裕があれば、このような状況であれば開催、中止と状況により判断できるようダブルセットアップで準備していくことも一つの方法である。講演会は、ZOOM等会議システムを使用すれば、来場者を分散し開催することが可能である。
- 吉池委員 当初は開催が厳しいと考えていたが、藤原委員の意見を聞き、規模を縮小し、新型コロナウイルス感染症に関する学習会等の開催でもよいのではと思った。
- 高野会長 予算が少ない中でダブルセットアップを行うのは難しいと考える。東京都、埼玉県での感染者が増えている状況を見ると、健康づくりフェスティバルを開催する10月頃に縮小、分散の形をとったところで、どうだろうかと感じている。健康づくりと謳っているイベントであり、市民にとって有益であるか考えたところ、延期、中止を選択すべきではないかと考える。
- 小林健康づくり課長 藤原委員の新しい生活様式を取り入れての開催方法もあり判断が難しいため、改めて高野会長と協議させていただくことでご了承いただきたい。
- 吉池会長 高野会長と市で開催について決定してほしい。
- 高野会長 開催の決断について、私と事務局に一任いただくことでよいか。  
→ 異議なし

(4) その他

- 池田保健医療推進係長 資料17、18の新型コロナウイルス接触確認アプリについて、より多くの方に利用していただくと感染防止の効果が出るため、各団体において周知をお願いしたい。

4 その他

- 小林健康づくり課長 次回の開催について、健康づくりフェスティバルの開催の判断を一任いただき、その状況を踏まえて、一か月前までにはご連絡したい。

5 閉 会 14:40